

# 特集

## 青少年 アンビシャス運動

### 第2期 スタート

第2期のスタートにあたって、「誉めて伸ばそう」「自主的参加」「交流・評価」という原則のもと、次の3つの目標を掲げて運動を進めていきます。

〈参加団体2000を目指す〉

運動をさらに拡大するため、現在1088の参加団体を平成23年度までに2000団体に増やすことを目指します。「アンビシャスな青少年になるための7の提案」に沿った活動をしている多くの団体やグループの皆さんの参加を積極的に呼びかけるとともに、活動を支えるボランティアへの支援も目指します。

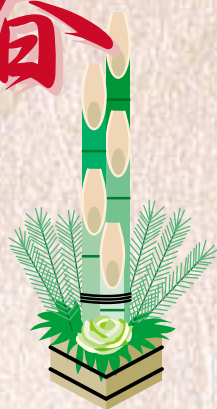
〈活動のネットワークづくり〉

それぞれの参加団体の活動内容の充実も重要です。地域や活動分野ごとのネットワークをつくり、情報や技術などの共有を進め、ともに活動することで向上を図ることが可能になります。このような参加団体同士の活動ネットワークづくりを積極的に支援していきます。

〈自尊感情の向上〉

運動を効果的に推進するためには、運動の成果を適宜確認する必要があります。第2期では、子どもたちの「自尊感情」を運動の成果を確認するための指標として把握し、この「自尊感情」を高めるために有効なコミュニケーション力を伸ばしていくため

# 迎春



新年あけましておめでとございます。

「天性を見出し、育成に努める」―子どもの持っている良いところを見つけ、それを伸ばそうと始まった青少年アンビシャス運動は7年目を迎えました。

近年の情報化や国際化、少子化などの状況はアンビシャス運動を始めた頃よりさらに進み、子どもたちを取りまく環境は大きく変化しています。昨年行った検証の結果、こうした環境の中でもアンビシャス運動に参加している子どもたちには、積極性や自主性、思いやりなどが身につく、将来の夢や具体的な目標を見いだすなどの良い変化が確認されました。また、これらの変化に勇気づけられて、大人たちの間に新たなネットワークが生まれている地域もあります。

21世紀を担う子どもたちには、豊かな感性や失敗をおそれずに挑戦するたくましさとともに、それぞれの目標に向かって努力していく志を持つことが求められます。そして、大人には、その子どもたちを励まし、子どもたちとともに素晴らしい未来をつくる姿勢が求められます。

これまでの運動の成果を踏まえて第2期青少年アンビシャス運動がスタートしました。宇宙飛行士の若田光一新会長のもと、運動の輪がさらに大きく広がり、子どもたちが伸び伸びと成長し、夢を実現できる21世紀を創っていきましょう。

青少年アンビシャス運動推進本部長 福岡県知事 麻生 渡